

なかとん これからの学校づくり

中頓別町では、令和3(2021)年度より中学校校舎の建て替えを含め、令和8(2026)年の開校を目指し、こども園・小学校・中学校が連携した新しい学校づくりを進めています。昨年度に取り組み、話し合ったことをご報告します。



昨年度の取り組みの振り返り

昨年度は、教職員の方々に学校設備や空間の使い方について意見交換を実施したほか、中学生を対象とするワークショップを実施しました。下記の1～3の詳細は、次ページより紹介します。



まちはどうな学校をめざしているの？

幼児期の自然体験や英語教育など、地域の特色のある教育を小中学校でも引き継いでいけるような、幼小中で一貫した教育が受けられる学校を目指しています。



具体的にどのように実現するの？

老朽化した中学校の校舎の建て替えを予定しており、新しい中学校はこども園や小学校の近くにつくることを検討しています。幼小中の子もたちが交流でき、先生たちの連携も図りやすくします。

学校の他にどんな施設ができるの？

新しくつくる施設には、学校の他にコミュニティ施設が入ります。例えば、地域の図書館、木工の工房、屋内スポーツ施設など、誰もが利用できる施設を学校に併設することで、子どもから大人までの交流と学びの拠点をつくります。

保護者や地域はどう関わればいいの？

新しい学校は、地域みんなで子どもたちの成長を見守り、大人も一緒に学ぶことができる場になると理想です。新しい学校は計画段階から保護者や地域の人みなさんに意見をもらい、一緒につくっていくことが大切だと考えています。

1

講座 「親子で読んで学ぶ生き方ドリル」

全3回の町民ワークショップを開催しました。
ゲストによるトークセッションや、理想の学校
について話し合いました。

第1回 ▶▶▶ 地域の先輩たちの生き方の選択は？

令和3年8月30日(月) 18:00～19:30



中頓別町教育長の相座豊氏とコミュニティデザインに
携わるstudio-L代表山崎亮氏によるトークセッション
を実施。相座教育長がこれまで取り組まれてきたこと
や教育に対する想いや考えをお話しました。

相座教育長のひとこと！

大人になったとき、中頓別で育ち、暮ら
した経験が心の中にあることが大事
です。豊かな自然の中で思いきり遊ぶこ
とで人間としての土台をつくる教育
を実現していきたいと考えています。

当日の講座内容は
こちらから
視聴できます。



第2回 ▶▶▶ 中頓別にあった5いい学びの場は？

令和3年9月9日(木) 18:00～19:30



3歳から15歳までが一つの校舎で学ぶ長野県の「軽井
沢風越学園」の取り組みを参照しながら、中頓別にあつ
たらいい学びの場や大切にしたいことについて話し合
いました。



異年齢が温もり教える 自然の中で学ぶ 子どもたちで話し合う、決める

参加者意見を抜粋／

自分で決めたことをやり遂げ、
自信につなげてほしい！

数本の図書館が
あったらいいな！

学校が地域に開か
れているといいな！

好きなスタイルでリラックス
して読書・対話できるスパー
スがあったらうれしい！

いろいろな人の意見を
きき、自分はこうだと言
えるようになってほしい

第3回 ▶▶▶ 子どもと一緒に考えるまちの教育

令和3年9月24日(金) 18:30～20:00



ゲストに、東京大学大学院教育学研究科教授の牧野篤
氏をお招きし、これからの求められる地域での教育に
ついてお話をうかがうとともに参加者の質問にお答え
いただきました。

これからの教育は何が大切ですか？

人生100年時代といわれています。
子どもたちが主体的に学びながら自分
で自分の人生をつくっていくよう、
生涯学び続けるための基礎をつくる
ことが大切です。

当日の講座内容は
こちらから
視聴できます。



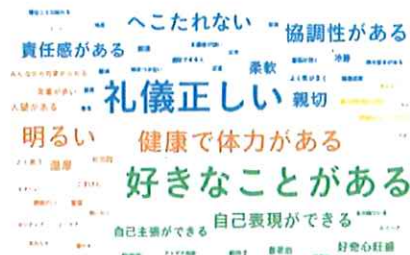
2 こども園・小学校・中学校の保護者アンケート

2022年2月、こども園・小学校・中学校の保護者を対象にアンケートを配布しました。69名よりご回答いただいたご意見をまとめました。

質問1. 大人になるまでに子どもたちに身につけてもらいたい力は？

82個の選択肢から「身につけてもらいたい力」を3つ選んでいただきました。今回は身につけてもらいたい力の上位5つをご紹介します。

好きなもの・ことがある／礼儀正しい	12票
明るい／健康で体力がある	10票
協調性がある／へこたれない	9票
自己表現ができる／親切／責任感がある	8票
根気がある／柔軟	7票



回答者の声／

ITが発達してきたことで、人間な直感力や感性が大切にしたい。

自分が大切にしたいことを一生懸命に取り組んだ経験は、大人になってから生かされると思う。

うまくいかないことがあっても、最後まで責任を持てる人になれるといいな。

人間的で自然の力を信じて、生命力あふれる様に生きていければ、なんでもできると思う。

質問2. 子どもたちが放課後や休日にできたい活動は？

15個の選択肢から、放課後や休日に「できたい活動」を3つ選んでいただきました。

運動をする	43票
自然体験をする	29票
国際交流する	19票
本を読む	18票
ものづくりをする	17票
アートにふれる	14票
楽器を演奏する	12票
みんなのご飯を作る	12票
塾で勉強する	9票
映画を見る	8票
地域外の人と話す	3票
地域の先輩と話す	2票
地域の人を招いた発表会	2票
カフェでくつろぐ	1票
ゲームをする	1票

自然の中で活動できる機会が増えたら嬉しい。

身近な場所で本に触れたり、勉強できる空間があるといい。

高齢の方々と話す事で、昔の知恵を授け、歴史を知る機会が多いといい。

共働きのため子どもに調理を教える時間がなかなか取れないので、調理の機会があるといい。

回答者の声／

子ども達が自由に集まり、冬でも屋内で遊べる場所があるといいな。

異文化交流をする中で自己表現ができるようになるといい。

アートやクリエーションなど文化的な活動に参加できる機会が増えるといい。



質問3.
新しい学校づくりに関するアイデアがあれば教えてください。

保護者のみなさんに書いていただいた学校のアイデアをテーマごとにまとめました。

教育内容

それぞれが好きなスタイルで、得意な分野を深く学ぶ時間があるといい！

現在、幼小中と英語教育が進められているので、「国際交流・国際理解」にも力を入れてもらえるといい。

eスポーツを取り入れるとおもしろそう！

多目的スペース

友だちと集まって話ができるようなフリーな場所があるといい。

動線

持ち物を整理整頓しやすく、動きやすい学校になるといい。

運動設備

自然と体が動かせるような遊具や設置が備わるといい！

目指す学校像

毎日行くことが楽しくなるような学校にしたい。

価値観を豊かに、視野を広げられる学校にしたい。

色々な事を体験できる学校に！

教職員

先生方が一丸となって教育に取り組める学校。

小学校の先生方の指導や対応がとても良いので、今の雰囲気も大切にしてほしい。

図書室

人が集まり、研究や発表、趣味、ディスカッション、景色を見ながらゆっくりするなど、様々な用途で活用できるといい。

地域に開けた場所になったらいい！

児童生徒の交流

異年齢の交流ができるといい。

地域との交流

地域性も考慮した地域に開けた学校をめざしたい。

障害、個性を学ぶ時間を保護者や地域の方を交えて学ぶ機会があるといい。

相談

子どもが悩みを気軽に相談できるような場所があるといい。

設備全体

明るく、温度調節が優れ、木の温もりを感じられるといい。

防災

防災グッズが備蓄されるといい。



3

展示 「あったらいいな展」

令和4年3月11～13日の3日間、町民センターのロビーにて、「あったらいいな展」を開催し、160名を超える方にお越しいただきました。新しい学校づくりについてのパネル展示と「こんな学校があったらいいなと思うアイデア」をききました。

好きなシールを貼って時間割を完成させよう!

好きなことをシールに書いたり、「本を読む」、「食べる」、「自然の中で遊ぶ」などから選んでもらい時間割をつくりました。



校庭でどんなふうに過ごしたい?

校庭でどんなことをして過ごしたいかイラストや言葉で書いてもらったり、写真から選んでもらい、アイデアを膨らませました。



教室や地域の人もみんなが使える部屋でどう過ごしたい?

教室など校舎のなかでどんなことをして過ごしたいか模型を使ってアイデアを膨らませました。



アイデアコレクション

子どもたちが制作した、毎日来るのが楽しみになるような学校のアイデア作品の展示と表彰式が開催されました。



なかとん学習塾のみんなに聞きました！

なかとん学習塾で、「こんな学校がいいな！」「中頓別小のいいところ」「中小をアピールするキャッチコピー」のアイデアを展示しました。



出張なかとん塾

相座教育長、大島園長、ダリン先生による出張なかとん塾も開催されました。



アイデアをイラストにしました！

令和3年度にみなさんにきいたアイデアや意見をもとに、絵本を作成しました。町民センターでご覧いただけます！



今年度のご案内

今年度は、具体的にどんな機能を備える学校にするか、学校と地域でどのように連携していくか話し合いながら進めていく予定です。

お問合せ

中頓別町役場 教育委員会（担当：炭谷）
01634-6-1111